日本胎盤臨床医学会
研究要覧

第13号(2013年)

[第14回医学会大会 講演要旨集]

〔招待講演〕がんワクチン療法の現状と、今後の課題
医療法人社団医創会 セレンクリニック福岡 院長　高橋 秀徳　—11—

〔研究発表1〕プラセンタ療法の可能性
吉祥寺中医クリニック 院長　長瀬 眞彦　—25—

〔研究発表2〕歯周病とプラセンタ
きたじま歯科 院長　喜多嶋 洋史　—35—

〔研究発表3〕プラセンタサプリメントの公的新基準について
スノーデン株式会社 執行役員　大石 真巳　—48—

〔研究発表4〕プラセンタ療法とこれから——統合医療の可能性について
統合医療センタークリニックぎのわん 院長　天願　勇　—63—

〔JSCPM Archives〕
絨毛組織加水分解物ビタエックスに関する研究
京都大学教授　三林 隆吉　— 76 —

胎盤漿—ラエンネックの栄養因子
福岡大学名誉教授　木本 英治　— 82 —

OTC分野における胎盤療法の歴史
薬剤師(メディカルアドバイザー)　高橋 武紘　— 99 —

〔巻末資料〕日本胎盤臨床研究会の入会申込書、申請書、および知的財産権利用許諾契約書　— 105 —

一般財団法人
監修：日本胎盤臨床医学会